これはひとえに、全国各地で

公益財団法人日本骨髄バンク

理事長 齋藤英彦

は4万人に到達しました。

適切な提供の推進に関する法

謹んで新年のご挨拶を申し上

れます。

移植に用いる造血幹細胞

厳しい環境さらに

変更し、新たなスター

トを切

血液事業本部長

西本

至

供者の健康の保護やさい帯血の

会の十分な確保が期待されると とする方々が、移植を受ける機

ともに、骨髄・末梢血幹細胞提

日本赤十字社

切な提供推進

りました。また、累計移植数は

1万6400件、ドナー登録者

植は累計で1万6000例を超 バンクを介して行われた骨髄移 登録者になっていただき、骨髄 開始されて以来、皆様の御尽力

毎年多くの方にドナー

生活の質の改善が図られるよう

適な造血幹細胞移植が行われ、

だきます。

しまして、

御挨拶とさせていた

植を希望する患者の方々にとっ

健勝、御活躍を心より祈念いた

②患者登録から移植までのコー

よう、①ドナー登録者の増加と 末梢血幹細胞移植を受けられる も多くの患者さんが骨髄または

ご支援、ご協力を賜りますよう

る患者さんのため、より一層の

これからも、移植を必要とす

よろしくお願い申し上げます。

ますとともに、会員皆様方の御

厚生労働省としましては、移

て病気の種類や病状に合った最

骨髄バンク事業は平成3年

謹んで新年のお祝いを申し上

移植医療対策推進室長 泉 潤 厚生労働省健康局疾病対策課

関する法律」が、本年1月1日

すますの御支援、御協力を賜り の推進に当たり、貴協議会のま

ますよう心からお願い申し上げ

血幹細胞の適切な提供の推進に

より施行されました。

を内容とする「移植に用いる造

した骨髄バンク事業の法定化等

地の協力に感謝

••••••

•••••••

•••••••

•••••••

これまでにないものになります。

集いは国宝に囲まれた会場で

ディネート期間の短縮、に努め

てまいる所存です。

本年6月末をもって一時休止に

取り組んでまいります。

結びに、造血幹細胞移植対策

想されますが、今後も、一人で なることから、厳しい環境が予

物であり、この場をお借りいた

まして深く感謝を申し上げ

者の方々の御理解、御支援の賜 るボランティアの皆様方や関係 骨髄バンク事業を支えてくださ

みを背景に平成2年9月に成立

法人日本骨髄バンクに名称を

こうした皆様の長年の取り組

でご挨拶を申し上げます。

新年を迎えるにあたり、謹ん

末梢血幹細胞提供あっせん事業 れたことから、当法人は骨髄・ 律」が本年1月1日から施行さ

に用いる造血幹細胞の適切な提

提供あっせん事業者、

一昨年9月に成立した「移植

の推進に関する法律」が本年

月1日に施行となりました。

運営が必要となります。

当法人は昨年10月、

公益財団

備を進めております。

ACジャパンの支援が

今後は、造血幹細胞移植を必要

者の許可を受けるべく、

2014年1月1日発行 第259号

発行責任者:野村正満 http://www.marrow.or.jp/

E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座

三井住友銀行 新宿通支店

普通 5666655

R

7年を迎えて 発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク 推進連絡協議会 〒101-0031 東京都 千代田区東神田1-3-4 KTビル3F TEL.(03)5823-6360 FAX.(03)5823-6365

理事長、そして関係機関のトップに年頭のごあいさつをちょうだいしました。 を集めており、3年後の新法見直しを見据えて「あるべき姿」を志向しつづけたいものです。会長: 骨髄バンク事業のスタートが当時の厚生省保健医療局長通知だけだったことを考えると、法的根拠 の「施行元年」となります。私たち全国のボランティアが望んできた形とは異なるとはいえ、公的 が整ったという意味で、まさに隔世の感があります。とりわけ、日本赤十字社の役割が大きな注目 2014年が明けました。 本年は「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」

全国骨髄バンク推進連絡協議会 6月の集い楽しみ 会長 仲田順和

昨年7月に会長に就任してか 謹んで新年のご挨拶を申し上

全国からお集まりのボランティ 大会にも参列し、さらに協議会 破する記念ともなったことで、 去った印象です。この間、9月 にとって重要な代表者会議では 11月には日本骨髄バンクの全国 ともに慶びを分かち合いました。 に参加し、日本でのさい帯血移 のさい帯血バンク推進全国大会 植が世界に先がけて1万例を突

ていただきました。

議論の合間に、当山の国宝や重 選んでいただきましたが、全山 in京都」の会場に、私が座主を ります。全国協議会総会でのご する準備を整えたいと考えてお 務めております京都・醍醐寺を 丸となって、皆さまをお迎え

アの方々に親しくご挨拶をさせ

ら、半年があっという間に過ぎ

「2014ボランティアの集い 本年は、6月に開か れる

甚です。

ます。

仲田会長を迎え、

全国協議会

理事長 野村正満

課題の解決へ精進

膝元・世界遺産の京都醍醐寺で になりました。まずは会長のお の理事会新体制が発足して半年

6月に行うボランティアの集

と総会を成功させるべく、

準備

あけましておめでとうござい

を整えています。

当日は多くのみなさんが醍醐寺 にお集まりいただければと思

【仲田順和会長揮毫

午」

局体制を確固たるものとするた が、早期にこれを実現するべく め体質刷新に取り組んでいます 全国協議会の事務

事業の中身をボランティアと患 その方向性をはっきりと見据え は造血細胞移植推進法が施行さ 者救済に役立つものとして ばなりません。法整備が真に患 者の視線で監視していかなけれ での再スタートとなりますが、 れ、法体制の下、新たな枠組み 節目の時となります。1月から 血バンク事業にとって、大きな 努力をして参ります。 今年は、骨髄バンク・さい帯

のご理解とご協力をお願い るところです。どうぞみなさま 新年にあたり心を新たにしてい 理事会ではこれらに解決策を見 いだすため精進していこうと、 のを見守りたいと思います。 て、課題は山積しておりますが も財政体制の確立をはじめとし 全国協議会にとっては、

女性記者の関心高く こうのとりマリ 基金会見

全国協議会の新たな基金「こ

ン基金」につい



中で運営されてきた骨髄バン 幹細胞移植の安全性向上が望ま 給事業者としての責務ある事業 可を受けた骨髄・末梢血幹細胞 品質管理体制の強化による造血 ク・さい帯血バンクは、国の許 また、これまで根拠法のない 日本赤十字社は国より指定を 心からのご寄付

11月21日~12月20日(敬称略) 株式会社スポットライト 現金 10,000円 ト麻雀ネットワーク「ニューロン」

豊島区明るい社会づくりの会 現金 149,780円

東京新都心ライオンズクラブ・東京21世紀ラ イオンズクラブ 現金 250,000円 現金 20,000円 江上 義紀 10,000円 高橋 計凱 塩谷 圭 現金現金 30,000円 1,000円 飛田 行康 現金 11,000円 現金 石岡 淳 10,000円 前田スミ子 現金 3,880円 匿名 現金 10,000円 匿名 現金 5,000円 ●白血病患者支援基金

ホームセンターコーナン市川原木店 現金 嶋津 桂子 現金

●佐藤きち子患者支援基金 樋口 勇一 コットンキャップの会 現金 3.000円 現金 30,000円 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 現金 11,121円

5,089円

3,000円

●こうのとりマリーン基金 100,000円 藤倉 光枝 現金

骨髄バンクを支援する会 (いわき) 250,000円 現金

【おわび】第258号の本欄で、「骨髄バ ンクを支援する会 (いわき) 様」のお名 前および寄付金額を誤ってしまいました。 深くおわび申し上げますとともに、今号 に改めて掲載させていただきました。

受けた造血幹細胞提供支援機関 貴協議会の益々

せていただきます。 いたしまして新年のご挨拶とさ のご発展と皆様のご健勝を祈念 末筆ながら、

支援業務に取り組んで参る所存 です。 細胞の適切な提供推進のため、 として、新たな使命を帯びるこ ととなりました。今後、造血幹 諸関係機関と相互の連携を図り

応えました。 どとのすみ分けについても質問 む「特定不妊治療助成制度」な 経緯や助成の具体的内容・条 問も多く、 を担当した菅副理事長がそれに があり、本基金の設立に尽力し わせるものでした。基金設立の た大谷顧問や設立・運営の実務 こともあり、 で行われました。 公的機関が先行して取り組

基金」の普及啓発用としてポス ターとリーフレットを作成しま した。ご希望の方は事務局まで 連絡ください。

新体制 本さい帯血バンクネットワーク 作りに尽力

となり、各関係機関の皆様との

連携を深めて、新たな体制作り

に尽力する所存です。

これに伴い、初期的な段階に



謹んで新年のお慶びを申し上

となりました。

日をもって事業を終了すること クネットワークは、本年3月末 り組んできた日本さい帯血 おけるさい帯血移植の整備に取

る法律」が施行されました。 胞の適切な提供の推進に関す 本年、「移植に用いる造血幹

業の発展は、ひとえに移植医療

これまでのさい帯血バンク事

機関の関係者のご努力と全国の

なります。臍帯血供給事業者は、大きな責任が課せられることに大きな責任が課せられることにり、 い帯血を提供することが必要 の責務として安全で高品質な 今後は、個々のさい帯血バン

数人

のご発展と皆様のご健勝を祈念 意を表する次第であります。 のご支援の賜物であり、深く敬 数多くのボランティアの皆様方 つとさせていただきます いたしまして、新年のごあいさ 結びに、 貴協議会のますます

月29日、厚生労働省記者クラブ たが、 ては前号で詳しくお伝えしまし 設立の記者会見が昨年

女性を対象とした基金である 関心の高さをうかが 女性記者からの質

なお、「こうのとりマリーン

知ってもらい、骨髄バンクを知

もらうことです。「毎年来てく らない人に骨髄バンクを知って

障害基礎年金を受給するための要件 社会保険労務士・金井恵美子

た時に年金や一時金が支給され どで一定程度以上の障害を負っ 族給付以外にも、 公的年金には、老齢給付や遺 けがや病気な

から一時金が支給されることも 障害状態であっても、厚生年金 れます。年金に至らない程度の 礎年金や障害厚生年金が支給さ 国民年金や厚生年金から障害基 比較的重い障害の場合には、

件をみていきます。 害基礎年金を受給するための要 ここでは、国民年金からの障

人中である場合に支給されます。 (初診日) に、国民年金に加 初めて医師の診療を受けた 国民年金に加入中で

害の原因となった傷病につい 通常、障害基礎年金は、障

3回目のSNOW BANK 献血は6名にも ナー登録44名

日)は昨年以上に集客すること 登録数は44名にも上りました。 ができ、献血者は60名、ドナ ARD2013」(11月16~17 ーボードを知らない人にス このイベントの目的はス ANK PAY IT FOR 3回目を迎えた「SNOW

ボー

ドのカッコ良さを

かったです

加していた女子ライダー自身に

も響いていたようでとても良

ボーダーとの「女性特有の病_

る原千晶さんと女子プロスノー

初年度から協力いただいてい

についてのトークライブは、参

目的は今年も果たされました。 とを意識して創ってきて、その 年いなかった人を集客する」こ れる人を増やすのではなく、去

青森から参加してくれたドナー 内科医である白崎先生と白崎先 自身が慢性白血病患者であるス 生が移植を担当した患者さんで にも参加していただき大いに盛 でフリースキーヤーの田中さん ーボーダーの帝京大学の血液 骨髄バンクトークライブでは ーボーダーの平川さんと、

めて聞く若者たちに影響を与え ていたようで良かったです。 骨髄移植のリアルな部分を初

ティアの皆様の長年の活動のお

それぞれ分けてみていきましょ 害)」では、年金を受給するた が20歳前である場合(20歳前障 そして、「初診日が国民年金加 病が原因である障害について ない20歳前に初診日のある傷 めの要件が異なっているため、 も、支給されることがあります 入中にある場合」と、「初診日

る障害給付があります。

基礎年金の受給要件は、原則と して次の3つの要件を満たすこ 人中にある場合」における障害 まず、「初診日が国民年金加

あること (「加入要件」) ①国民年金加入中に初診日が

とになっています。 る60歳以上65歳未満の人は、加 入中の初診日でなくてもよいこ ※なお、日本国内に住んでい

であることが必要です。 この障害の状態を判断する各

りたいと思います。 ご協力していただき、本当にあ のイベントにたくさんの方々に 獲得し普及啓発できるよう、こ 今年以上に骨髄ドナー登録者を になるイベントを目指してまい れから闘病する患者さんの勇気 りがとうございました。来年も

再びのお務めです◎

理

荒井善正

をしてきました。

「まだ闘える」と勇気を持てま ました。「兄と骨髄の型が一致 骨髄バンクを介して骨髄移植を もできないのか?」と思ってい せずスタート地点にも立つこと 受けることができて命を救われ 正です。僕は慢性活動性EBウ した。これも全国各地のボラン た時に骨髄バンクの存在を知り イルス感染症を患い、5年前に 今期で2期目、 再任の荒井善

ていること(「納付要件」) ②保険料の納付要件を満たし

害の状態であること(「障害状 障害等級表などに当てはまる障 ③障害認定日に障害の程度が

した場合はその日をいいます。 度を定める日のことです。初診 またはその期間内に症状が固定 ※障害認定日とは、障害の程 方、 から1年6カ月を経過した日 20歳前障害の場合には

前記の「加入要件」と「納付要 とが必要です。 が、次の2つの要件を満たすこ 件」を満たす必要がありません

害等級1級又は2級の障害状態 態であること (「障害状態要件」) 級表などに当てはまる障害の状 認定日に障害の程度が、障害等 ②20歳になった時または障害 障害基礎年金の受給には、障 ①20歳前に初診日があること

を持てる社会創りを目指し活動 B A N K P A Y

必要としている患者さんがド 活動に力を入れていきたいと思 様々な得意分野がありそれぞれ ていただきましたが、それぞれ に骨髄バンクを伝える普及啓発 や骨髄バンクに興味がない人々 創りを可能にすると思いました。 良く患者さんの為の骨髄バンク を生かしていくことが最も効率 ます。その結果、骨髄移植を 2期目も僕が得意な若い世代 この2年間は理事を務めさせ ーに困らない社会を創りたい

級の障害状態は、国民年金法施 基準」があります。 民年金・厚生年金保険障害認定 ための具体的な基準として さらに、障害の程度を認定する 行令別表で定められています。

> 日常生活がとても困難な状態 の助けを借りる必要はないが

血液・造血器疾患の場合は

ン」第2回は、「障害年金」を

込もった言葉で表現し、会場

らは感動の拍手が起こりまし

これからもこの活動を通し たくさんの子どもたちに命

じることの喜びを自分の思いの

たところ、

命の大切さや生

全国協議会主催の「患者サ

受けなければほとんど日常生活 をすることができないような状 障害等級1級=他人の介助を かには次のような状態です。 -級及び2級の状態とは、

障害等級2級=必ずしも他



陰です。 私も少しでもお力になれれば

様のお力を借りながら、これか ク)を立ち上げ、全国各地の皆 個人的にも若者に骨髄バンクを ら移植を受ける患者さんが勇気 普及啓発するイベント「SNO いさせていただくようになり と思い千葉の会の活動をお手伝 ORWARD」(スノーバン

と思います。

体験者の話に感動 コンサートも心に響く

事について」管理栄養士さんら 植を知ろう」が開催されました おいて、全国協議会ほかの共催 で第15回市民公開講座「骨髄移 今回は、第1部で「がんと食 11月9日 (土)、弘前大学に

体験を通じての感動もあるとい がお話しくださいました。 うことを知りました。そして、 植の体験者のお話があり、 ナーさんは「ドナーとなること の葛藤ばかりではなく、 第2部では骨髄提供や骨髄移 その F,

素晴らしく、心に響きました。 田中学高等学校吹奏楽研究会に 葛藤の中にいたときに聞いた移 きました。また、恒例の青森山 た」と話され、涙がこみ上げて たちにもこの講座に参加してほ よる「いのちのコンサート」は 植経験者の言葉に勇気づけられ もっともっと、若い世代の人 読書感想文コンクール表彰式

学生40・中学生61)が寄せられ 呼びかけた結果、10 度は課題図書を一新して応募を ル表彰式が行われました。今年 を考える」読書感想文コンクー えている様子が伝わってきまし や生きることについて真剣に考 どの作品からも、本を通して命 やかプラザで、第22回 12月15日 (日)、彩の国すこ

もたちに作品の朗読をお願 表彰式では特別賞5名の子ど

00名が参加するイベントを

ドナー登録を呼びかける約

(日)、那覇市内で骨髄バン

「一矢君を救う会」が12月8

催しました。

会場の県庁前県

などを参考として、認定時の具 て、総合的に認定することとさ 体的な日常生活状況等を把握し 般検査、特殊検査の検査成績 テーマに12月23日(祝)開かれ 金井さんを招いての「勉強会」

について考え、生きることの喜

Sを味わってほしいと願ってい

(埼玉の会・高土慈子)

となりました。大切なテーマと 加があり、質疑も盛んでした。 あって、患者さんら約15人の参 お寄せください。写真を添えて 各地のたよりを

見つからなかったという経験が あり、少しでも多くの方にド ンクに登録してもドナーさんが しいと思いました。私は骨髄バ

市民講座「骨髄移植を知ろう」

報告といたします。(患者・家 ナー登録をお願いしたいと願っ 族会まろまろ 前田深雪) れている皆様に深く感謝しつつ ています。そのためにご尽力さ 課題図書 新、101作品も

いのちを考える読書感想文 コンクールの表彰式

る素晴らしい雰囲気が会場

バンクにもドナーが見つかって 診断されましたが家族にも骨髄 病を発症し、骨髄移植が必要と 3年生のとき急性リンパ性白血

ルトラマンソングと若さあふ 先生が歌われたり、懐かしい の曲を演奏し、それに合わせ

っぱいに広がりました。

いません。

配布したチラシには「一矢以

|磨東中学校の吹奏楽部が、ク 兵庫県立香寺高校と姫路市立

> 3000枚を周辺で配布しまし ク登録を呼びかけるチラシ約 くの献血ルームでの骨髄バン

ンサート」を開催しました。

「骨髄バンク支援クリスマス

では、今年も12月21日 (土)

子舞いや旗頭が披露され、 会・旗頭保存会などによる、

近 獅

姫路地区骨髄バンク推進セン

今年もクリスマスコンサー 会場内に募金箱も 中・高吹奏楽部が演奏

民広場では西原町の兼久子ども

スマスソングや、

1970年

安慶名一矢君(19歳)は高校



白血病患者支援募金箱」に寄

復帰できるように、骨髄バンク

のドナー登録の呼び掛けをし

(濱田惠子)

回り、多くの方に募金をして |様のご協力で会場内に募金箱 また、国際ソロプチミスト姫

植を必要としています。そこで、 外にもたくさんの患者が骨髄移

矢とその方たちが元気に社会

ただきました。募金の一部は

「いのち

県庁前で14名が登録 矢君を救う会イベント 00名が呼びかけ

骨髄バンク NOW 骨髄パンクの最新情報をお知らせする 一 《財団マンスリー JMDP(12月13日発行)より抜粋》

◆日本骨髄バンクの現状(平成25年11月末現在) 700 元代(十成25年11月末現在 10月 11月 現在数 3,419 2,631 440,369 282 230 2,554 117 117 — ドナー登録者数 597,773 ドナー登録者数 3,419 2,631 440,369 597,773 患者登録者数 282 230 2,554 40,321 移 植 例 数 117 117 — 16,317 ■11月の区分別ドナー登録者数:献血ルーム/774人、献血併行型集団登録会/1,739人、集団登録会/66人、その他/52人 ■11月の年齢別ドナー登録者数(現在数) 10代 3,065人/20代 71,794人/30代 151,569人/40代 170,363 人/50代 43,578人 ■11月の20歳未満の登録者223人 計) 数値は実際傾向たかな月以降に訂正されることがあります。

注)数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。 平成24年7月より集計方法が変わりました。



ました。

配置し、

14名の登録を受け付け

では説明員6名を献血ルームに

沖縄県骨髄バンクを支援する会 ています」と記されています。

「認定NPO法人」である全国骨髄バンク推進連絡協議会への寄付金は、税制上の優遇措置により確定申告の際の寄付控除対象となります。詳細は事務局へお問い合わせください。